

動物の診察室から

○ 14 ○

ヨークシャーテリアのアルちゃんは、毎日病院へ通っています。二年前に腎臓と肝臓の機能が悪くなり、治療が始まりましたが、今年に入ってから一日二回の治療が必要になりました。アルちゃんのお姉さん（飼い主さん）ご夫妻は仕事があるため一日二回連れてくることができません。そのため、お姉さんは仕事の前に病院へアルちゃん



入院室で迎えを待つアルちゃん

アルは13歳

を連れてきて、仕事の帰りにアルちゃんを迎えに来ます。

アルちゃんは十三年

前、私の病院で帝王切開で生まれました。残念なことでしたが、母犬は四匹の子供を残して死亡しました。ちょうどその時、

毎日の治療がんばって

かにも飼っていました。二年前に二匹が続けて、リンパ肉腫と血管肉腫という悪性の腫瘍で亡くなってしまう、その時

にアルちゃんも、検査で腎臓と肝臓の異常がわかったのです。アルちゃんは最初のころは、週に三回の治療で

治療となりました。毎日通っていても、病院に来るのはいやなようで、朝お預かりする時は、ブルブルふるえてヨダレがい

さい！

維持できていたのですが、血液検査の値がだんだんと悪くなり、毎日の治療、そして一日二回の赤ちゃんの時に人工授乳を受けていたアルちゃんは、十三年たった

三年たった

